

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

△ 危険

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガスにご連絡ください。

H97-901(00)
03.02.(00)●



060 00012 31126 0

取扱説明書

家庭用 BL認定品

大阪ガス

もくじ

〈止水機能〉

給湯暖房機

2温度タイプ

135-8208

135-8308

型名

RUH-V2400FF2-1

RUH-V1612FF2-1

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスの給湯暖房機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。
- この製品は国内専用です。

ページ

●安全上のご注意	1
●機能と特長	6
●はじめてお使いのときは、まず	6
●各部のなまえとはたらき	7
●使用方法	
①シャワー・台所・洗面所などの給湯温度の調節	13
②湯はりのオートストップ機能の使いかた	15
③湯はり温度と湯はり量の調節方法	17
④お湯が出なくなったら	19
⑤音声の音量の変えかた	20
⑥ゆらぎのシャワーの使いかた	21
⑦時計の合わせかた	23
⑧暖房の使いかた	24
⑨おいだきたいときは	25
⑩リモコンなしの場合	27
●冬の凍結による破損防止について	28
●点検・お手入れのしかた	31
●故障!とお考えになる前に	32
●故障・異常の見分け方と処置方法	34
●長期間使用しない場合は	35
●主な仕様・能力表	36
●アフターサービスについて	37

安全上のご注意

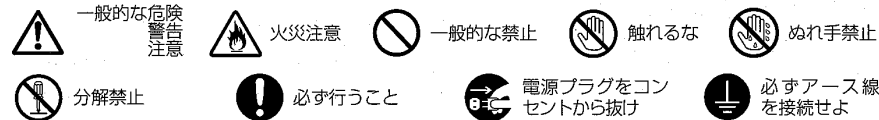
この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

表示	意味
危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

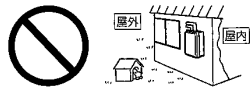
傷害 : 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。
物的損害 : 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

絵表示については次のような意味があります。



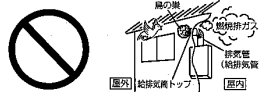
危険

屋外設置禁止



この機器は屋内用です。
屋外に設置して使用しないでください。
機器に雨水が侵入したり、風で炎があふれて火災の原因となります。
ただし、設置工事説明書に記載されている条件を満たしている場合は、パイプシャフト内に設置することもできます。詳しくは設置工事説明書をお読みください。

給排気管の点検必要



給排気管がはずれていたり、鳥の糞やスズで詰まっているか、ときどき点検してください。室内に燃焼排ガスが入って一酸化炭素中毒の恐れがあります。

機器の異常に気付いたら

①給湯栓をすべて閉める。 閉める

②ガス栓を閉める。 閉める

必ず行う

- 使用中に異常な燃焼・臭気(ガスのにおい)・異常音を感じたときはあわてずに運転を停止してガス栓を閉め、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 地震や火災発生時もあわてずに運転を停止してください。

危険

ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁

火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止

電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」禁止

ガスのにおいのある場所での電話の使用禁止

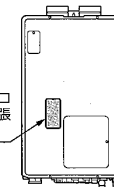
ガス漏れに気付いたときは、大阪ガスの係員による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。
炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

警告

機器の銘板を確認



※この機器の銘板はフロントカバーのここに張ってあります。



型名	RF RUH-V2400FF2-1
ガスの種類 (石炭都市ガス 13A・12A用の例)	RUH-V2400FF 外燃焼炉用 燃焼ガス 13A・12A
電源	定格電圧 AC 100V 定格周波数 50/60Hz
製造年月 (右は2003年 4月生産の例)	0304-012846
品名	燃焼炉用一ツ 作動時
(N)135-8208(U) 大阪ガス株式会社	

使用する機器が使用するガスの種類(ガスグループ)および使用する電源(AC100V・50/60Hz共用)に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外のガスを使用すると不完全燃焼や爆発点火の原因となります。

この機器はAC100V(50/60Hz)用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

工事は資格必要



この機器の設置・移動および付帯工事に専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

給排気筒トップに囲いをしない



増改築などによって給排気筒トップを屋内の状態にしたり、ビニールや波板などで囲いをしないでください。一酸化炭素中毒や火災の原因となります。

機器やリモコンの分解は禁止

サービスマン以外の方は機器のフロントカバーをはずしたり、分解しないでください。また、リモコンも分解しないでください。事故や故障の原因となります。



お子様に対する注意

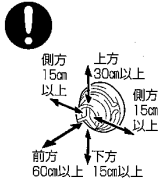
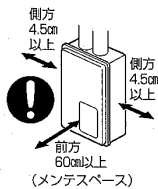
●お風呂を沸かしているとき(浴槽に湯はりしているとき)に子供を浴室で遊ばせないようにしてください。浴槽に落ちますと思わぬ事故につながる可能性があります。

安全上のご注意

⚠️ 注意

火災予防のために必ず守ること

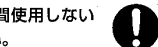
- 機器や給排気筒トップ周辺の物とは常に右図の離隔距離を確保すること。
- 給排気筒トップが洗たく物などでおおわれないようにすること。
- 機器や給排気筒トップ周辺に紙や木材などの燃えやすいものを置かないこと。
- 機器や給排気筒トップ周辺にガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしないこと。
- 機器や給排気筒トップ周辺にスプレー缶を置いたり、使用したりしないこと。



電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭いてください。火災の原因になります。



不慮の事故防止のため、長時間使用しないときはガス栓を閉めてください。



用途について

給湯・シャワー・暖房（乾燥）以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。



機器内に長時間たまっていった水は、飲用または調理に用いず雑用水としてお使いください。



感電防止のために

感電の恐れがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。

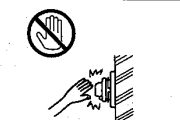


やけど防止のために必ず守ること

- お湯を止めた後に再使用する時や、お湯の量を急に少なくしたとき、あるいは万一機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出る場合があります。やけどの危険性がありますので、出始めのお湯は手や体につけないでください。
- シャワー（上がり湯）を使う場合、最初に熱いお湯が出る場合があります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかけて、湯温を十分に確認してから行ってください。
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水でびっくりすることがあります。
- パネルヒーターの表面はさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。



使用中や使用直後は給排気筒トップやその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。



入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴してください。おいだき中やおいだき後は浴槽水の上部と下部では相当の温度差があるので、十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。やけどの恐れがあります。



⚠️ 注意

機器の破損防止のため必ず行うこと

冬期に水道水が凍結する恐れがある日は、下記いずれかの方法で凍結予防を行ってください。（28～30ページ参照）

- 1 凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法
- 2 給湯栓から水を流す方法
- 3 水抜きによる方法

電気事故防止のために

- 電源コードを加工したり無理な力を加えないでください。感電、ショートや発火による火災の恐れがあります。
- 電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 電源プラグやコンセント・電源コードが濡れているときは使わないでください。感電や火災の原因になります。

低温やけど防止のために

床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起す心配があります。

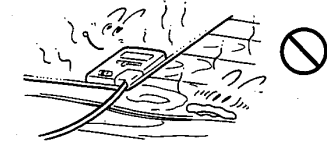
特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。

- ① 乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
- ② 疲労の激しいときや深酒をしたとき
- ③ 皮膚の弱い方

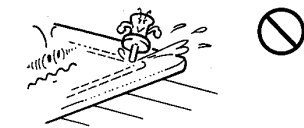


床暖房の破損防止のために

● 床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ・そり・隙間の原因となります。



● カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。



ゆらぎのシャワー使用上の注意

次の方はゆらぎのシャワーを使用しないでください。体調をくずすことがあります。

- ① 妊娠中の方
- ② 医者から入浴を禁じられている方
- ③ お酒を飲んだあとや深酒をされた方
- ④ 高血圧の方
- ⑤ 体力の弱っている方
- ⑥ 体調の悪い方



お願い

乾電池に関するご注意

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。その際、乾電池を使用している機器は、乾電池を取りはずしてから正規の処理をしてください。そのまましておきますと、思わぬ事故になることがあります。

安全上のご注意

お願い

機器の設置状態についての確認

- ①機器は傾いて設置されていませんか？
- ②冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？正常な燃焼の妨げになることがあります。
- ③棚の下など落下物の危険はありませんか？
- ④メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。
- ⑤排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で給・排気口が閉塞されることはありませんか？不完全燃焼の原因となります。

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。ガラスなどの変形・変色の原因となります。

この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることとなりますのでご承知おきください。

別売部品はこの機器用のもの以外は使用しないでください。事故や故障の原因となります。

この機器の設置・移動および付帯工事は、法律（特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律）に基づいて行い、工事完了後機器本体と給排気筒に下のような法定のステッカー（表示ラベル）を張ることにしていますので確認してください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事業者の店名 又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年 月 日

もし上記のステッカーが張られていない場合は、施工店に確認してください。設置工事の不備による事故・故障は保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

地下水・井戸水について

地下水や井戸水は、水質によっては機器を腐食させる恐れがあります。地下水や井戸水を使用しないでください。
(冷泉・温泉水を含む)

電源ケーブルの取り扱いについて

電源ケーブルを引っばってプラグを抜かないでください。ケーブルが断線して発熱・発火の原因となります。

リモコンの取り扱いについて

リモコンは子供がイタズラしないようにご注意ください。思わぬ事故や故障の原因となります。

浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。また、台所および増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因となります。

リモコンのお手入れにベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。変色や変形することがあります。

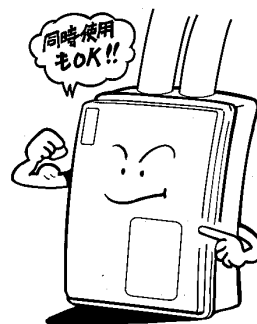
浴室用洗剤などについて

塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・消臭剤または塩などが、機器やガスなどにかかった場合はすぐに十分な水洗いをしてください。思わぬ事故や故障の原因となります。

給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い・すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。

機能と特長

給湯も暖房もこれ一台でOKです。



湯はりスイッチを押し、お風呂の蛇口を開けます。浴槽へお湯をはり終わると自動的にお湯を止め、プザーと音声でお知らせします。
(15ページ参照)



「ゆらぎのシャワー」で心と体のリフレッシュ!! (21ページ参照)



※ゆらぎのシャワーはお湯の温度が1/10のゆらぎで変化し、自然のリズムで体をリフレッシュさせるシャワーです。

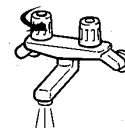
はじめてお使いのときは、まず

1. 給水元栓を全開にします。



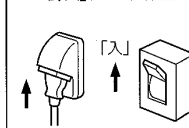
機器の下部

2. お湯の蛇口を開け、水が出ることを確認してから閉めます。
(すべての給湯栓について)



お湯の使用場所

3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)



機器付近の壁・分電盤

4. ガス栓を全開にします。



機器の下部

各部のなまえとはたらき (浴室リモコン)

■浴室リモコン (別売品 138-0019)

●浴室に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。また、呼び出しスイッチを押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが(ピーピビビピッと約5回)鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。

優先スイッチ(オレンジ)

リモコンの優先種の切り替えに使用します。

呼び出しスイッチ

押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴ります。(このスイッチは光りません)

湯量スイッチ

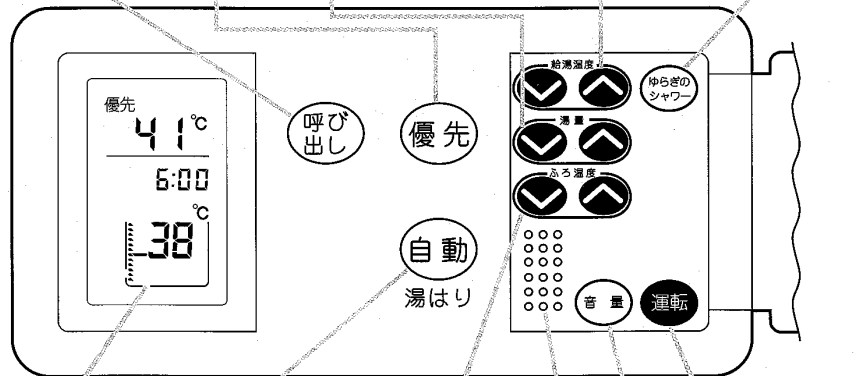
湯はり量を決めるときに使用します。(18ページ参照)

給湯温度スイッチ

給湯温度を決めるときに使用します。(13ページ参照)

ゆらぎのシャワースイッチ

ゆらぎのシャワーを使うときに押します。(21ページ参照)



表示画面

お湯の温度や運転状態、時刻などを表示します。

湯はりスイッチ(赤)

お風呂に湯はりをするときを押します。(15ページ参照)

ふろ温度スイッチ

お風呂への湯はり温度を決めるときに使用します。(17ページ参照)

運転スイッチ

お湯を使うときやお風呂に湯はりをするときには「入」(表示画面点灯)にします。

スピーカー

ここから音声が出ます。

音量スイッチ

音声を大きさを変わるときに使用します。(20ページ参照)

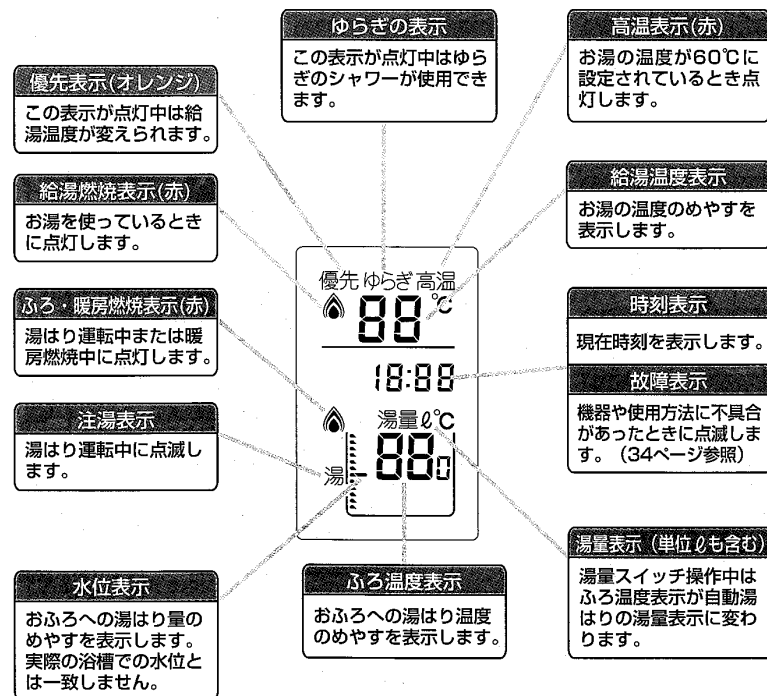


スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。

- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。
- 操作確認音・お風呂への湯はり完了ブザーや音声は、給湯温度スイッチ(赤)2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。この設定は各リモコン別々にできます。ただし、正しい操作が行われなかったときに音声が消すことはできません。元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

■浴室リモコン表示画面のみかた

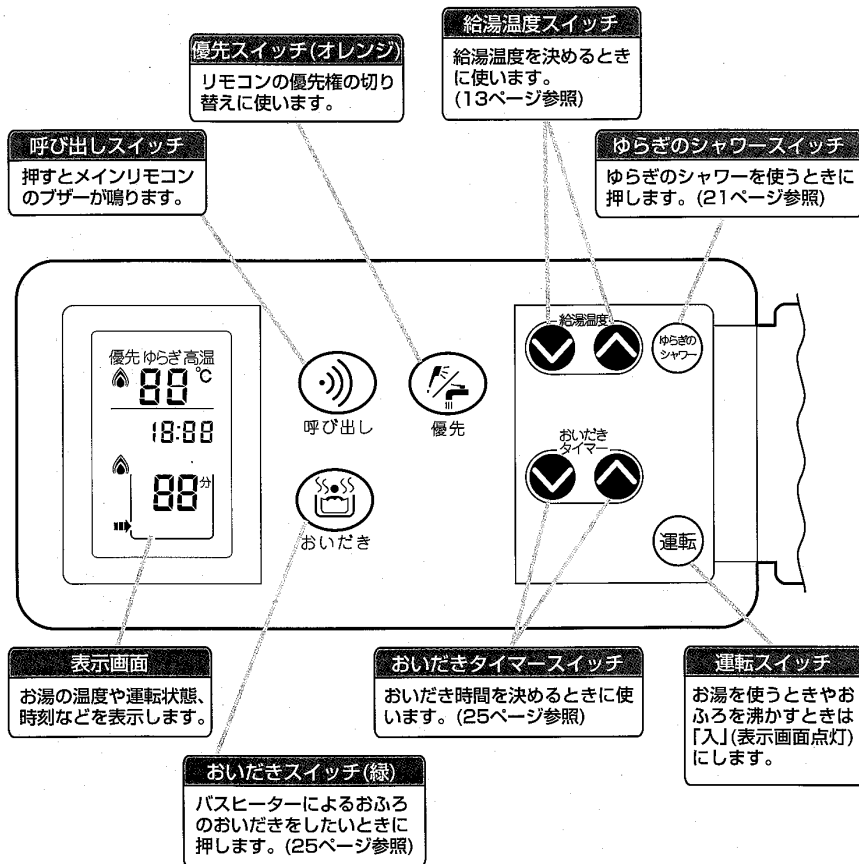
- スイッチを操作した場合は、操作確認音や音声と表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



各部のなまえとはたらき (浴室リモコン)

■浴室リモコン(138-3101)

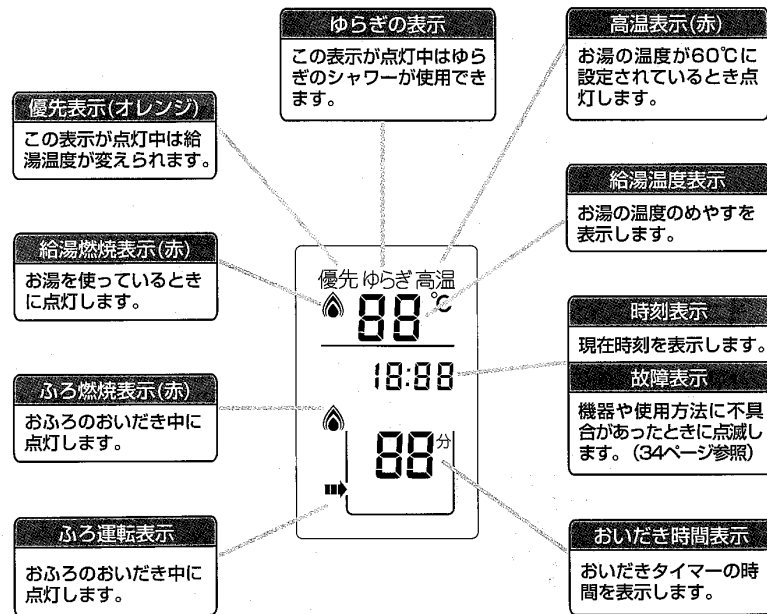
●おいだきタイマー機能付き(バスヒーター専用)浴室リモコンです。各スイッチを操作すると「ビッ」という操作確認音がします。また、呼び出しスイッチを押すとメインリモコンのブザーが鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。ただし、このリモコンは音声はできません。



●スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ビッ」という操作確認音を確認してください。
●操作確認音およびお風呂への湯はり完了やおいだき完了のお知らせは運転スイッチが「入」のときに給湯温度スイッチ(緑)2回を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。この設定は各リモコン別々にできます。もとに戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

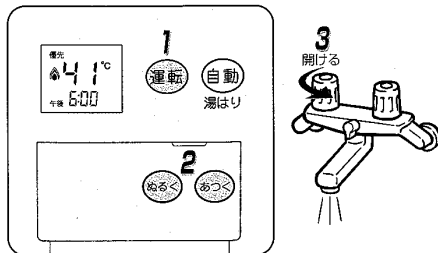
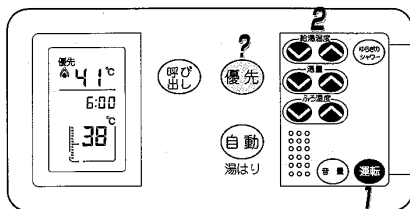
■浴室リモコン表示画面のみかた

- スイッチを操作した場合は、操作確認音や表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

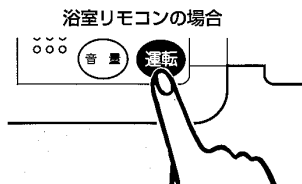


使用方法① シャワー・台所・洗面所などの給湯温度の調節

どのリモコンでも操作できます。

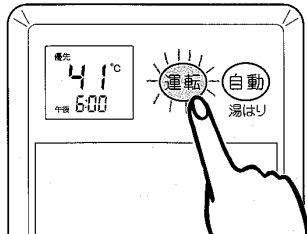


1 運転スイッチを押します。



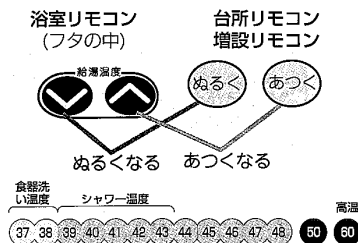
- 表示画面に給湯・ふろ設定温度などが点灯し、同時に台所リモコン・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。

台所リモコン・増設リモコンの場合

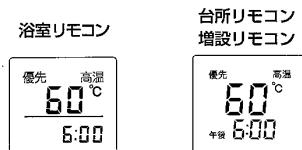


- 運転スイッチを「入」にしたリモコンには優先表示(オレンジ)が点灯します。また浴室リモコンの場合は、優先スイッチがオレンジ色に光ります。

2 給湯温度スイッチで温度を決めます。

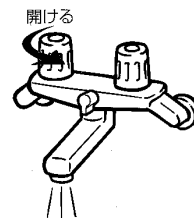


- 37°Cから60°Cまで上記の14段階に設定できます。温度は表示画面に表示されます。下図は60°Cに設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。

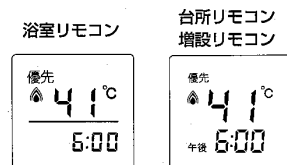


- 給湯設定温度を60°Cにセットすると上図のような高温表示(赤)が点灯して注意を促します。
- スイッチを押し続けると45°C以下の設定では連続で表示が変わりますが、46°C以上にしたときはスイッチを1回ずつ押してください。

3 給湯栓を開けばお湯が出ます。



- お湯を使っている間は、表示画面に下図のような燃焼表示が点灯します。



- 湯量を絞すぎる(毎分約2リットル以下にする)とバーナの火が消えます。

- お買い上げの際には、お湯の温度を42°Cに設定してあります。
- 湯量が給湯能力以上の場合、リモコンの表示よりもぬるいお湯が出る場合がありますので、湯量を絞ってお使いください。
- 給水温が高い場合は、リモコンの給湯温度表示よりも熱いお湯が出る場合があります。

警告

- 高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- おふろ(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。
- やけど防止のため、おふろ(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこの給湯温度スイッチで決まります。

※リモコンの運転スイッチが「切」の状態の水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと、機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

? 運転スイッチが「入」になっているのに給湯温度が調節できない?

- 2台以上のリモコンが設置されている場合、給湯温度が調節できるのは表示画面に「優先」の表示が出ているリモコンだけです。これはやけどなどの事故を防ぐためです。



- この優先権を切り替えるには浴室リモコンの優先スイッチを押します。優先スイッチを一回押すたびに、優先権が浴室リモコン→台所リモコンおよび増設リモコン→浴室リモコン...と交互に切り替わります。



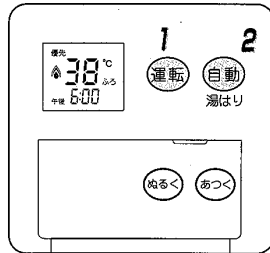
浴室リモコン優先のときは優先スイッチがオレンジ色に光ります。

使用方法② 湯はりのオートストップ機能の使いかた

台所リモコン・浴室リモコン(138-0019のみ)のどちらでも操作できます。
ただし増設リモコン・138-3101型浴室リモコンからは音声は出ません。

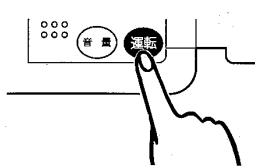
浴槽に湯はりする前に

- 浴槽の排水栓がしっかりと閉めてあることを確認してください。
- サーモ付混合水栓の場合は、水栓の設定温度を最も高温にしておいてください。



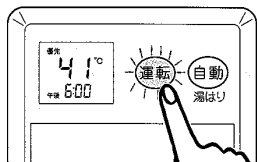
1 運転スイッチを押します。

浴室リモコンの場合



- 表示画面に給湯・ふろ設定温度などが点灯し、同時に台所リモコン・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。

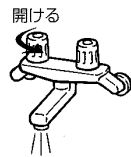
台所リモコン・増設リモコンの場合



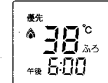
- 運転スイッチを「入」にしたリモコンには優先表示(オレンジ)が点灯します。また浴室リモコンの場合は、優先スイッチがオレンジ色に光ります。

2 湯はりスイッチを押してから、浴槽のお湯の蛇口を開けます。

「入」にする

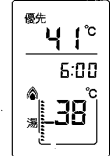


台所リモコン
増設リモコン



※湯はり中は台所リモコン・増設リモコンの湯温度表示がふろ(湯はり)温度に変わります。

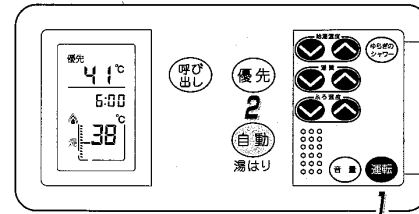
浴室リモコン
湯はり中



- 湯はりスイッチを押すと、音声で「浴槽へお湯を入れる準備ができました。ふろのお湯の蛇口を開けてください。」とお知らせします。お湯の蛇口を開けると湯はりが始まります。(6時間以内に蛇口を開けない場合は、湯はりSW操作は無効となります。)

湯はりを途中で止めたいときは

設定湯量の半分以下で止めるときは給湯栓を閉めてから湯はりスイッチを押して「切」にします。設定湯量の半分以上で止めるときは、給湯栓を閉めれば湯はりスイッチは自動的に「切」になります。

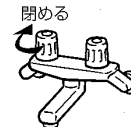


湯はり温度と湯はり量の調節は？
初めてお使いになるときは湯はり温度は約42°Cに、湯はり量は約200リットルに設定してあります。また、湯はり中でも湯はり温度は変更することができます。これらの変更方法については17・18ページをご覧ください。

3 湯はり終了の音声(もしくはブザー)でお知らせしたら、お湯の蛇口を閉めてから湯はりスイッチを押して「切」にします。

- 湯はりが終了すると、音声で「湯はりが終わりました。ふろの蛇口を閉めてから湯はりスイッチを押してください。」と(もしくはブザー)お知らせし、湯はりスイッチが点滅します。お湯の蛇口を閉めてから湯はりスイッチを押してください。
- サーモ付混合水栓の場合、おふろへの湯はりが終わったら、水栓の設定温度を必ずやけどの恐れがない温度に戻しておいてください。

※音声・ブザーの設定変更の方法については20ページをご覧ください。
点滅したら



「切」にする



※湯はり中に他の蛇口でお湯を使用すると、浴槽への湯はり量が設定湯量より少なくなります。

お湯の蛇口を閉め忘れると...

機器が自動的にお湯を止めますが、このままではお湯が使えない状態になります。お湯の蛇口を開いてもお湯が出ない場合は、一旦すべてのお湯の蛇口を閉めてください。その後点滅している湯はりスイッチを押して「切」にすればお湯が使えるようになります。お湯の蛇口を閉め忘れたまま湯はりスイッチを「切」にはできません。(音声で蛇口を閉めるようお知らせします)
詳しくは19ページをご覧ください。

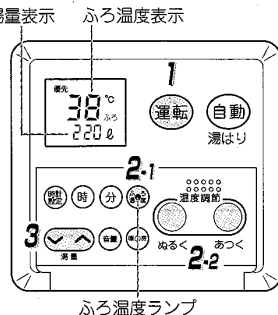


- 湯はりに中に停電があった場合は、湯はりの蛇口から水が出続けます。
- 停電に気が付いたら、一旦湯はりの蛇口を閉めてください。
- 停電中そのままにしておくと、停電復帰後に水は止まりますが、リモコンの表示画面に故障表示が点滅します。この場合は湯はりの蛇口を閉めてから、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

使用方法③ 湯はり温度と湯はり量の調節方法

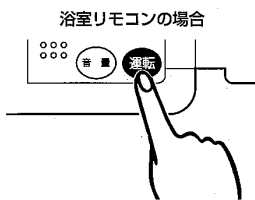
台所リモコン・浴室リモコン(138-0019のみ)の湯量表示 ふろ温度表示
 どちらでも操作できます。

(注) 138-0018には暖房スイッチはありません。



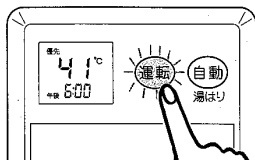
湯はり温度は37℃から45℃の間はふろ温度スイッチを押し続けると連続で表示が変わりますが、46℃以上に設定するときは1回ずつ押ししてください。

1 運転スイッチを押します。



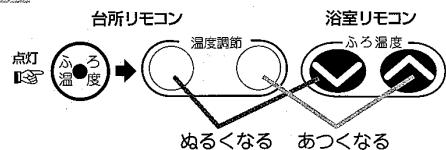
- 表示画面に給湯・ふろ設定温度などが点灯し、同時に台所リモコン・増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。

台所リモコン・増設リモコンの場合



- 運転スイッチを「入」にしたリモコンには優先表示(オレンジ)が点灯します。また浴室リモコンの場合は、優先スイッチがオレンジ色に光ります。

2 湯はり温度はフタの中にあるふろ温度スイッチで調節できます。



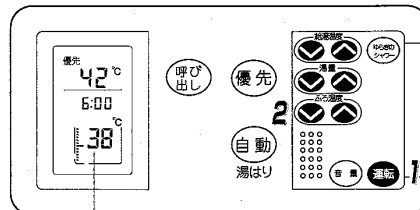
- 台所リモコンでは、まずふろ温度スイッチを押してふろ温度ランプ(オレンジ)が点灯してから温度調節スイッチを押します。
- 設定できる温度は37℃~48℃の12段階です。1℃きざみで一回スイッチを押すと1℃変わります。押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを一回ずつ押ししてください。

※温度表示はめやすです。



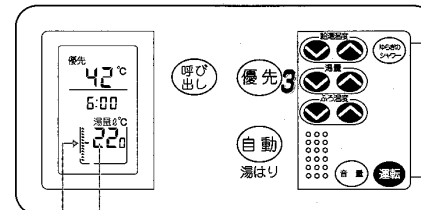
- ふろ温度は上図の部分に表示されます。上図は38℃にセットした例です。
- 湯はり運転中も上記の操作でふろ温度を変更することができます。

ふろ温度スイッチ操作中



ふろ温度表示

湯量スイッチ操作中



水位表示 湯量表示

3 湯はり量はフタの中にある湯量スイッチで調節できます。



湯量



湯量

- はじめて電源を「入」にしたとき、湯量は約200リットルになっています。このとき浴室リモコンの水位表示は下から6番目で示されます。
- 湯量スイッチの▲を押すたびに水位表示は1目盛ずつ上がり、湯量は右表のようにふえていきます。ただし、お子様のイタズラなどを防止するため、400リットルや990リットルに設定するときには、●スイッチを1秒以上押し続けなければ設定できないようになっています。また、400および990リットルに設定したとき水位表示は表示されません。
- 湯量スイッチの▼を押すたびに水位表示は1目盛ずつ下がり、湯量は上表のようにへっていきます。ただし、80リットルや60リットルに設定するときには、●スイッチを1秒以上押し続けてください。
- 湯量は上図の部分に表示されます。上図は220リットルにセットした例です。湯量表示は約5秒後に時刻表示(台所リモコン)およびふろ温度表示(浴室リモコン)に戻ります。

※湯量表示はめやすです。

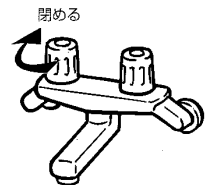
湯量 (リットル)	水位表示 (下から)
(990)	表示なし
(400)	表示なし
350	12
300	11
280	10
260	9
240	8
220	7
200	6
180	5
160	4
140	3
120	2
100	1
(80)	(1)
(60)	(1)

▲を押すとふえる
 初期設定
 ▼を押すとへる

使用方法④ お湯が出なくなったら

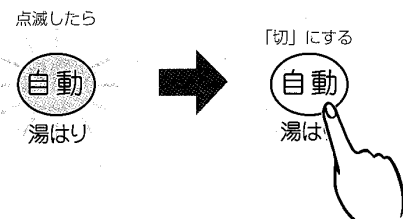
湯はりスイッチ（15・16ページ参照）を使って湯はり操作をすると湯はりは自動的に終了しますが、このままではお湯が使えなくなります。どこかのお湯の蛇口を開いてもお湯が出てこない場合は、必ず下記の手順に従って湯はり運転を解除してください。

1 一旦すべてのお湯の蛇口を閉めます。



- 浴室だけでなくその他の場所も開いたままになっていないかご確認ください。

2 点滅中の湯はりスイッチを押して「切」にします。



- これで再びお湯が使えるようになります。この機器は使用状況によってさまざまな音声でガイドします。下記はその一例ですが、これ以外の音声が出た場合もその指示に従って操作してください。

こんな音声が出るのはどんなとき？

「蛇口が開いていませんか？一度すべての蛇口を閉めてください。」

すべての蛇口を閉めずに点滅中の湯はり(または運転)スイッチを押すと、湯はり(または運転)スイッチは消灯しますが約1分間少量のお湯(または水)を流しながらこの音声が出ます。すべての蛇口を閉めてください。

「お湯が使用できません。すべての蛇口を閉めてから湯はりスイッチを押してください。」

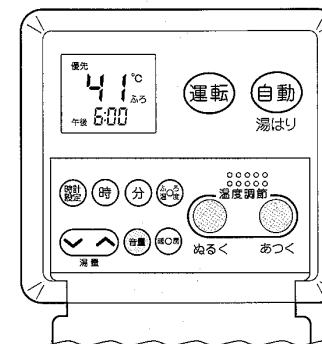
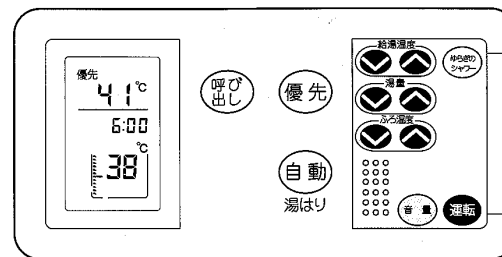
上記の状態で約1分間少量のお湯が出ている間に蛇口が開けられなかった場合や、湯はり中に湯はりスイッチを押してしまった場合、この音声が出て機器が自動的に止水します。湯はりスイッチは点滅したままになりますので、必ずすべての蛇口を閉めてから湯はりスイッチを「切」にしてください。

「すべての蛇口を閉めてから運転スイッチを押してください。」

湯はり中に運転スイッチを押して「切」にしたまま約1分以上蛇口を開け忘れていませんか？音声に従い、すべての蛇口を閉めてから運転スイッチを押してください。

使用方法⑤ 音声の音量の換えかた

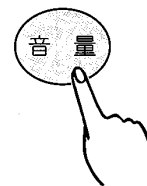
浴室リモコン(138-0019)または台所リモコン(138-0018・3100)で操作します。各リモコン別々の音量にセットすることができます。増設リモコンおよび138-3101型浴室リモコンにはこの機能はありません。(音声も出ません)



(注) 138-0018には暖房スイッチはありません。

音声を変えたいリモコンの音量スイッチを押します。

※運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定できます。



- 音声はお買い上げの際には中(標準)にセットされています。音量スイッチを1回押すと「音声は最大です」とお知らせして最大音量にセットされます。もう1回押すと「音声を消します」とお知らせして、音声は出なくなります。以下1回押すたびに下表のように音声の音量と湯はり完了ブザーが変わります。

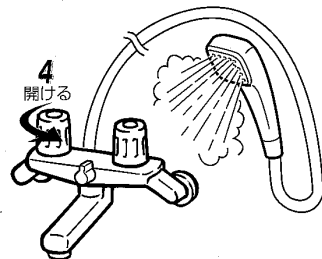
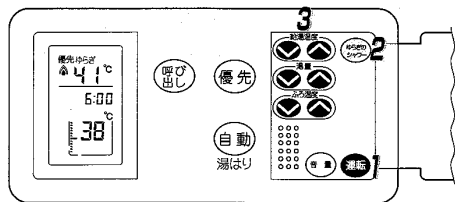
音量スイッチを押したときお知らせする音声	音声	湯はり完了ブザー
初期設定	(ピッ) 音声は標準です	中 なし
1回押し	(ピッ) 音声は最大です	大 なし
もう1回	(ピッ) 音声を消します	なし 有
もう1回	(ピッ) 音声は最小です	小 なし

もう1回押すと音声は中(標準)となり、以後上記を繰り返します。

- 音声なしにセットしても、正しい操作が行われなかったときに出る音声だけは消すことはできません。

使用方法⑥ ゆらぎのシャワーの使いかた

浴室リモコンで操作します。



△警告

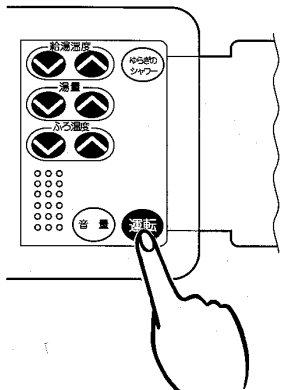
- 高温で給湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- やけど防止のため、お風呂（特にシャワー）の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
- 下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。
 - ・妊娠中の方
 - ・医者から入浴を禁じられている方
 - ・お酒を飲んだあとや深酒をされた方
 - ・高血圧の方 / 体力の弱っている方 / 体調の悪い方

△注意

- 給水温が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモ付混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果が得られないことがあります。
- サーモ付混合水栓の場合は、サーモスタットを高温設定にして水を混ぜずにお使いください。なお、やけど防止のため使用後は元の設定に戻しておいてください。

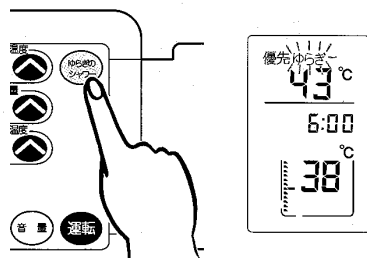
1 表示画面の点灯を確認めます。

- 表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。



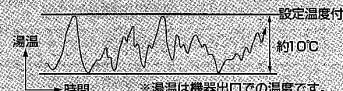
(注) 138-3101には湯量および温度、音量スイッチはありません。

2 ゆらぎのシャワースイッチを押します。



- 表示画面にゆらぎの表示が出ます。この表示は約15分で自動的に消えます。

- ゆらぎのシャワーは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約10°Cぬるい温度間で、毎回違ったパターンで湯温がゆらぎながら出てきます。

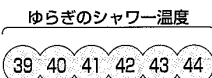


- 湯あがりの体が暖まっているときにゆらぎのシャワーを使用すると、湯ざめの防止・全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざまし促進にも有効です。

3 給湯温度スイッチでシャワーの温度を決めます。



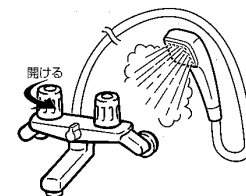
- 設定できる温度は39°C～44°Cの6段階です。



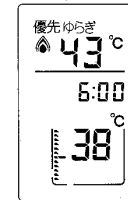
- 給湯設定温度が上記以外のときにゆらぎのシャワースイッチを押すと、設定温度が37°C・38°Cのときには39°C、45°C以上のときには44°Cのゆらぎのシャワーになります。

- ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯栓でお湯を使うと、ゆらぎのシャワー同様に湯温が変化しながら出てきます。
- ゆらぎのシャワー使用中に浴室リモコンの優先スイッチを押すと、優先権が台所（および増設）リモコンに移り、給湯設定温度も台所（および増設）リモコンで設定されていた温度に戻りますので、ゆらぎのシャワー使用中は優先スイッチを押さないでください。

4 シャワー栓を開けばゆらぎのシャワーが楽しめます。



- このとき表示画面には下図のような給湯燃焼表示が出ます。



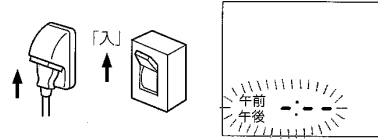
- ゆらぎのシャワーは連続15分使用すると自動的にキャンセルされ、その後は3で設定した温度のお湯が出ます。またシャワー栓を閉めるとゆらぎのシャワーは自動的に終了し、表示画面のゆらぎの表示が消えます。

使用方法⑦ 時計の合わせかた

台所リモコンで操作します。
(138-0018・3100)

●浴室リモコンのみ設置の場合は時刻は表示されません。

1 電源プラグをコンセントに差しします。



●電源プラグを差し込む(または分電盤の専用スイッチを「入」にする)と、上図の表示が点滅します。

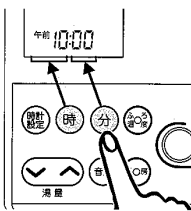
2 台所リモコンのフタを開け、時計設定スイッチを押します。

●時計設定スイッチを押すと、表示画面の時刻表示が午前 0:00 となり点滅します。



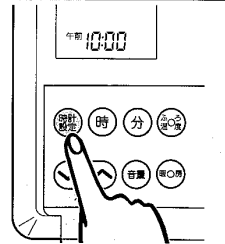
3 時・分スイッチで現在の時刻に合わせます。

●時・分スイッチを押しながら現在の時刻を画面に表示します。
※押し続けると、連続的に数字が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。



4 時計設定スイッチを再度押します。

●時計設定スイッチを押した瞬間に秒は0秒になりますので、時報などに合わせて押せばより正確な時刻になります。
●以上で時刻合わせは完了です。運転スイッチを「入」にすると、すべてのリモコンに現在時刻が表示されます。
※運転スイッチを「切」にすると、台所・増設リモコンでは時刻表示だけが点灯した状態となり、浴室リモコンではすべての表示が消灯します。(注) 138-0018には暖房スイッチはありません。



●午前と午後を間違えないようにご注意ください。
●電源プラグが抜けた場合や停電後の再通電時には「-- --」の表示に戻ります。再度時刻を合わせてください。

使用方法⑧ 暖房の使いかた

放熱器や床暖房リモコンで操作します。

△注意

- 床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ・そり・隙間の原因となります。
- カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。
- パネルヒータの表面にさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。
- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべっていると低温やけどを起こす心配があります。特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。
 - ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かさない方
 - ・疲労の激しいときや深酒をしたとき
 - ・皮膚の弱い方

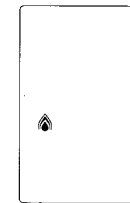
暖房する部屋の放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチを「入」にし、好みの温度に調節します。(放熱器(暖房)の取扱説明書もご覧ください)

●暖房運転中は表示画面に暖房燃焼表示(▲)が点灯します。(時刻表示は台所リモコン設置時のみ)

台所リモコンの場合

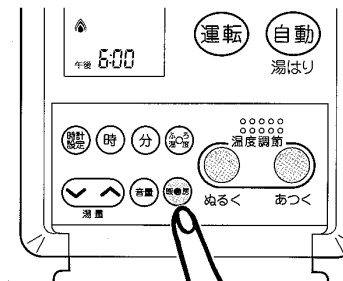


浴室リモコンの場合



※上のイラストはリモコンの運転スイッチが「切」になっているときの例です。

■暖房スイッチの使いかた



- 放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチの「入」「切」で機器の暖房運転ができない場合は、台所リモコンフタの中にある暖房スイッチを「入」にしてから放熱器を操作してください。
- 暖房スイッチが「入」のときは、暖房スイッチ中央の暖房ランプ(オレンジ)が点灯します。
※暖房スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なくはたらきます。

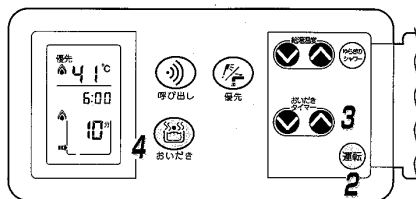
(注) ご使用のリモコンが138-3100の場合のみです。

使用方法⑨ おいだししたいとき

は…少しあつめにしたいときや昨日の残り湯を沸かしたいとき

浴室リモコン(138-3101のみ)で操作します。

※この機能は浴槽にバスヒーターが設置されている場合のみ使用できます。

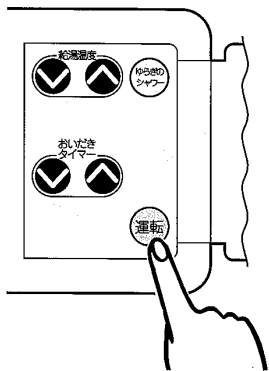


1 浴槽にお湯、または水が入っていることを確かめます。(上部循環口より10cm以上うえ)

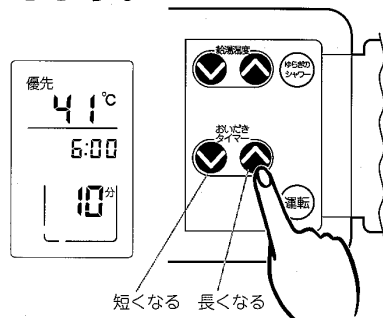


2 表示画面の点灯を確かめます。

●表示画面が点灯していないときは、浴室リモコンのフタの中にある運転スイッチを押して表示画面を点灯状態にします。



3 おだしタイマースイッチでおだし時間を調節します。

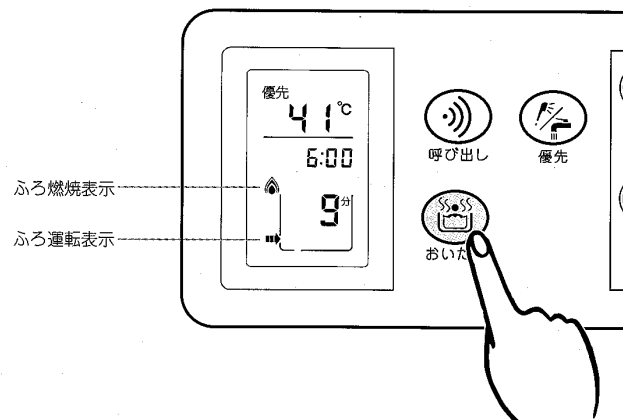


- おだし時間は1～80分の範囲で調節できます。上図は10分にセットした例です。はじめてお使いのときは5分にセットされています。
- 1～58分は1分刻みで、60～80分は5分刻みでセットできます。スイッチを押し続けると連続的に数字が変わりますので、セットしたい時間に近づいたら1回ずつ押してください。



- おいだし運転時には、循環口から泡が出てることがあります。また循環口からはあついお湯が出てきますので身体などに直接あてないようにしてください。
- この機器はおいだし完了温度を設定するタイプではありません。浴槽のお湯の温度に関係なくタイマーで設定された時間だけおいだします。沸かしすぎないようにご注意ください。

4 おいだしスイッチを押します。



- おいだしスイッチが緑色に光り、**3**でセットした時間おいだします。このとき表示画面にはふろ 燃烧表示とふろ 運転表示が点灯し、おいだし時間表示部においだしの残り時間が表示されます。(80～60分は5分刻み、58～1分は1分刻み)
- 途中で止めたいときはもう一度おいだしスイッチを押してください。
- おいだきが終わると約5秒間リモコンのブザーでお知らせします。
- おいだき中にタイマーを変更した場合、変更したタイマーのおいだきをそのまま続けますが、おいだき終了後は変更前の表示に戻ります。

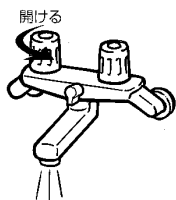
その他、バスヒーターにはいろいろな種類(湯かげんハンドルによるおいだしなど)がありますので、それぞれの取扱説明書に従って操作してください。

使用方法⑩リモコンなしの場合

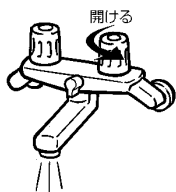
△警告

- 給湯器からは常に約60℃のあついお湯が出ます。必ず混合水栓をご使用ください。
- 高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。

1 給湯栓を開けばお湯が出ます。



2 給水栓を開いて水を混ぜ、適温にしてお使いください。



- お湯を使っている途中で停電した場合は、一旦給湯栓を閉めてから通電再開後に再び給湯栓を開けてください。
安全のため、水を流したまま通電しても点火しないようになっています。

■太陽熱温水器接続時のご注意

- リモコンがある場合は、太陽熱温水器と接続できません。
- 太陽熱温水器と接続すると、機器への給水温度が高くなり、湯温が設定温度に調節できない場合や高温になる場合がありますのでご注意ください。
 - ・混合水栓で湯温を調節してお使いください。
 - ・給水温度が高いと機器が点火しない場合があります。

冬期の凍結による破損防止について

暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください

△注意

- 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 外気温が極端に低く(-15℃以下)なる日や、それ以上の気温でも風のある日は対策その①では凍結予防ができなくなります。このような場合には、対策その②、その③の方法を行ってください。
- 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

暖房の凍結予防について

- ・外気温が0℃近くまで下がってくると、自動的にポンプが運転し、暖房燃焼して暖房水を循環させて、凍結を予防します。
(電源プラグをコンセントから抜かないでください)
- ・「※」スノーマークがある放熱器は運転つまみをスノーマークに合わせてください。
- ・不凍液を入れる方法もあります。



対策その①

凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法

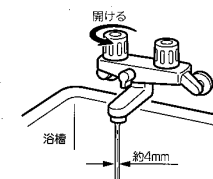
- 操作のしかた
 - この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ(給湯側)と自動ポンプ運転装置(暖房側)が組み込まれています。
 - 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けていると作動しませんのでご注意ください!
 - 機器が外気温を感知し、自動的に作動します。

対策その②

給湯栓から水を流す方法

- この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。ただし、暖房側はポンプ運転により凍結を予防しますので、上記対策その①同様電源プラグをコンセントから抜かないでください。

- 操作のしかた
 - ①リモコンの運転スイッチを「切」にします。
 - ②ガス栓が全開になっていることを確認してください。(暖房の凍結予防のため)
 - ③浴槽に排水栓をしてからおふろの給湯栓を開け、1分間に約400ミリリットルの水を浴槽に流しておいてください。
※この場合、浴槽から水があふれることがあります。
※サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。
※浴槽の近くに給湯栓がない場合は、シャワーホースを浴槽まで伸ばしてシャワー栓を開けてください。



(シャワーから水を流す場合、シャワーヘッドは浴槽にたまった水につからない位置に置いてください。)

△注意

- 水量が不安定なことがあります。念のため、30分ぐらい後にもう一度水量をご確認ください。
- サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

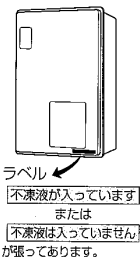
冬期の凍結による破損防止について

対策その③

水抜きによる方法

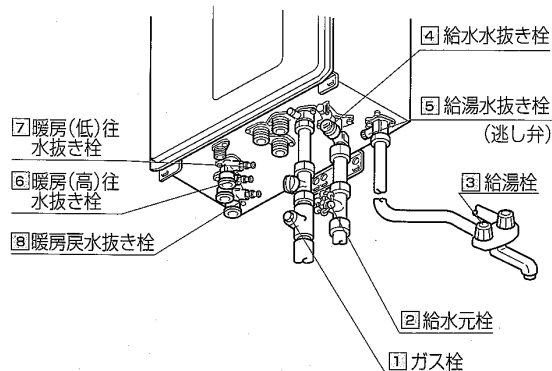
●機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。※使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

※暖房側の《水抜き》は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く(分電盤の専用スイッチを『切』にする)ときのみ行ってください。不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。



給湯側の水抜き

- ①ガス栓①・給水元栓②を開めてください。
 - ②リモコンの運転スイッチを『切』にしてください。湯はり運転が解除されていることを確認してから行ってください。
 - ③電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを『切』にしてください)
 - ④給湯栓③をすべて(シャワーなどを含む)全開にしてください。
 - ⑤給水水抜き栓④・給湯水抜き栓⑤を開けてください。
- ※以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。



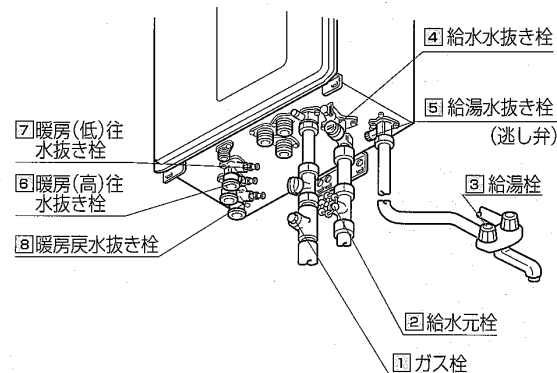
・以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまで給湯栓や水抜き栓は開けたままにしておいてください。

■暖房側の水抜き(不凍液が入っている場合は不要です)

※暖房側の《水抜き》は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く(分電盤の専用スイッチを『切』にする)ときのみ行ってください。

不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。

- ①ガス栓①が閉めてあることを確認してください。
 - ②給水元栓②が閉めてあることを確認してください。
 - ③暖房水抜き栓⑥・⑦・⑧を開けてください。
- ※リモコン表示画面に故障表示が点滅しますが異常ではありません。
- ④電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを『切』にしてください)



《水抜き》をした機器を、次に使うときは…

■機器に通水してください。

- ①電源プラグが抜いてある(分電盤の専用スイッチが『切』になっている)ことを確認してください。
 - ②ガス栓①が閉めてあることを確認してください。
 - ③給湯栓③をすべて(シャワーなどを含む)閉めてください。
 - ④給水水抜き栓④・給湯水抜き栓⑤を閉めてください。
 - ⑤暖房水抜き栓⑥・⑦・⑧をすべて閉めてください。
 - ⑥給水元栓②を全開にしてください。
 - ⑦給湯栓③を開け、通水を確認した後に閉めてください。
 - ⑧電源プラグをコンセントに差し込んでください。(分電盤の専用スイッチを『入』にしてください)
 - ⑨リモコンの運転スイッチが『切』になっている(表示画面が消灯している)ことを確認した後、ガス栓①を全開にしてください。
- ※通水後初めて暖房を使用する場合でリモコンの表示画面に故障表示「543」が点滅する場合は暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し電源を一旦「切」にした後再度「入」にしてください。

点検・お手入れのしかた

点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず①ガス栓を閉め②電源プラグを抜き③機器が冷えてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。

■点検…次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が聞こえますか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？
- 機器のまわりや給排気筒トップのそばに燃えやすいものはありませんか？
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ(金網)を掃除してください。



水圧の低い地域では、泡沫器や浄水器を使用しないでください。お湯の量が少なくなります。

- 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに張り替えてください。ラベルは販売店で求めください。
 - ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
- ※定期点検を受ける先が不明の場合や、点検費用などについてはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。

■お手入れ方法は

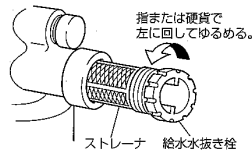
- 機器やリモコンの表面が汚れたときは、水に濡らしたやわらかな布をかたく絞り、軽く拭き取ってください。洗剤およびシンナー・ベンジンは使わないでください。
- 給水元栓先端のストレーナにゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水元栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。

※必ず給水元栓を閉めてから行ってください。

- 機器の給気口(給排気筒トップ周囲の穴)がほこりやゴミで詰まったまま使用すると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。



リモコンの内部には電気部品が入っていますから、水をかけないようにしてお手入れしてください。機器の故障の原因となります。



故障！とお考えになる前に

■次のような場合は、故障ではありません。

こんなとき	理由
給湯栓を絞らずぎで水になった	この機器は通水量が毎分2リットル以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
ゆらぎのシャワーができない	夏期などは、給水温が高くなりゆらぎのシャワーの効果が得られないため、機器が自動的にゆらぎのシャワー運転を停止させるためです。
ゆらぎのシャワーのお湯がゆらぎながら出ない	また、配管が長い場合は湯量が少なくなることもあります。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダーなどの泡と似た現象であり、汚濁とは違ってまったく無害なものです。
寒い日排気口から白煙が出る	外気温が低いときには燃焼排ガス中の水蒸気が白煙に見えますが、故障ではありません。
冬期など寒いとき暖房ポンプが自動的に動く、または燃焼する	凍結による破損防止のため、凍結予防運動を行います。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため出湯停止後もしばらく回転しています。
時刻表示が 12:-- になっている(台所リモコン設置時のみ)	停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が 12:-- になります。再度設定しなおしてください。(23ページ以降参照)
リモコンの表示よりあつい(ぬるい)お湯が出る	給水温が高い場合は表示よりあついお湯が、湯量が給湯能力以上の場合は表示よりぬるいお湯が出る場合があります。湯はり中は表示とは異なる温度のお湯が出る場合があります。
ときどき(1カ月に一度)機器を使用していないのにポンプの回転音(ウーンという音)がする	暖房回路の空気抜きを行うため、約1カ月に一回暖房ポンプが自動的に回転することがあります。異常ではありません。
湯はり終了後、蛇口から少量のお湯が出てすぐに止まらない	これは配管中のお湯が一時的に出る「後ダレ」現象です。蛇口を開けてから湯はりスイッチを押して「切」にしてください。
浴槽のお湯が少ない	湯はり運転中(湯はりスイッチ(赤)点灯中)に、台所などでお湯を使用すると、その分湯はり量は少なくなります。
	湯はりスイッチが「切」のとき(赤く光っていないとき)に湯はりをしても自動停止しません。
浴槽からお湯があふれる(湯はりが自動停止しない)	湯はり途中(設定湯量の半分以上湯はりした後)に蛇口を閉めて湯はりを中断した後、再度蛇口を開いて湯はりを続けた場合は自動停止しません。これは設定湯量の半分以上湯はりした後蛇口を閉めると、その時点で湯はり運転がキャンセルされるためです。
逃し弁(29,30ページの図中の⑤)からお湯(水)が少しの間出ることがある	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきによって逃し弁から水滴が落ちることがあります。

故障！とお考えになる前に

■次のような場合は、ココをお調べください。

こんなとき	理由
表示画面が点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか。 停電していませんか。 機器内の漏電安全装置が作動していませんか。一旦分電盤の専用スイッチを「切」にしてから再度「入」にするか、電源プラグをコンセントから抜いて再び差し込んでから再操作してください。
故障表示が点滅する	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
「自動スイッチ」を押しても動かない。	給水元栓が全開になっていますか。 断水していませんか。
「給湯燃烧表示」▲が点灯しない	ガス栓が全開になっていますか。
お湯が出ない	給水元栓が全開になっていますか。 断水していませんか。 給湯栓が十分開いていますか。
高温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか。
低温のお湯が出ない	湯温調節は適切ですか。 混合水栓やサーモミキシングバルブをお使いの場合は、リモコンの給湯温度を60℃に設定してください。
湯温が変動して安定しない	ゆらぎのシャワーになっていませんか。(21ページ参照) 運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確認した後、給湯栓を閉め、約20秒後に再操作してください。それでも異常のときは故障(水量制御装置)ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
「ふる燃焼表示」▲が点灯しない	ガス栓が全開になっていますか。 浴槽に水が入っていますか。
使用中に消火した	ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか。 LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか。
浴槽の水があつい(ぬるい)	ふる温度の設定は適切ですか。(17ページ参照) おいだきタイマーの設定は適切ですか。(25ページ参照)
浴槽のお湯が少ない(多い)	湯はり量の設定は適切ですか。 浴槽の残り湯がある状態で湯はり運転をすると、その分だけ水位が高くなります。混合水栓などをお使いの場合、湯はりのときに水側の蛇口を開いていませんか？その分だけ浴槽のお湯が多くなり、湯温はぬるくなります。(18ページ参照)
「暖房燃焼表示」▲が点灯しない	ガス栓が全開になっていますか。

※以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

機器が故障すると表示画面の時刻表示部に下表のような故障表示が点滅し、台所・増設リモコンは運転スイッチ(緑)も点滅します。故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

1. ガス栓と給水元栓が十分開いているか確認します。

全開にする
ガス栓 給水元栓
機器の下部

2. お湯を使っている場合は、給湯栓を閉めます。

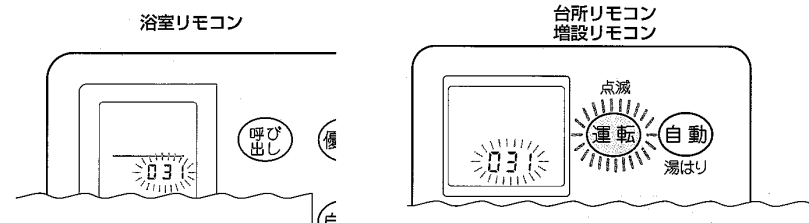
全開にする

3. 運転スイッチを「切」にして、再び「入」にします。

浴室リモコン (フタの中) 台所リモコン 増設リモコン

4. 再び使用してみてください。

●上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店か、もよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。



故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態
031	自動	173	給湯自動暖房	433	給湯自動暖房	710	給湯自動暖房
111	給湯自動	190	給湯自動暖房	521	給湯自動	721	給湯自動
113	暖房	310	給湯自動暖房	523	暖房	723	暖房
121	給湯自動	313	暖房	543	給湯自動暖房	901	給湯自動
123	暖房	321	給湯自動	611	給湯自動暖房	991	給湯自動
140	給湯自動暖房	323	暖房	613	給湯自動暖房	103	暖房
161	給湯自動	331	給湯自動	651	自動	993	暖房
101	給湯自動						

101または103を表示しているときは、お湯または暖房を使うことはできませんが、給排気異常により十分な給湯能力または暖房が出ない状態ですので、気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

長期間使用しない場合は

■長期間ご使用にならない場合は、次のことを行っておい
てください。

1 ガス栓を閉めます。



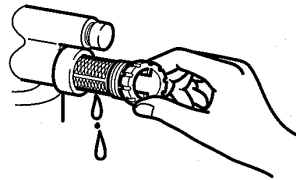
機器の下部

2 給水元栓を閉めます。



機器の下部

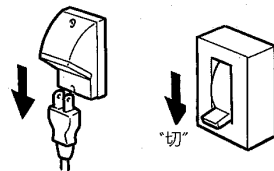
3 機器の水抜きをします。 (29・30ページ参照)



4 電源プラグを抜きます。 (分電盤の専用スイッチを「切」にしてください。)

注意

ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。



機器付近の壁・分電盤

主な仕様・能力表

品名	135-8208	135-8308
型式名	RUH-V2400FF2-1	RUH-V1612FF2-1
型式名	RUH-V2400FF	RUH-V1612FF
設置方式	屋内壁掛設置	
外形寸法 (mm)	幅480×奥行250×高さ750	
質量 (kg)	38	36
給湯浴室リモコン	約60℃ (浴室リモコン取付時：約37℃～約48℃・約50℃・約60℃)	
給湯台所リモコン	約60℃ (台所リモコン取付時：約37℃～約48℃・約50℃・約60℃)	
暖房	2温度型 (約80℃および約60℃)	
点火方式	AC100V連続放電式 (ダイレクト点火)	
ガス	20A (R3/4) オネジ	
給湯	20A (R3/4) オネジ	15A (R1/2) オネジ
配管	QF16ジョイント用継手	
電源	AC100V	
リモコン側	DC24V以下	
消費電力 (50/60Hz)	170/205	155/180
同時使用凍結予防ヒータ	5	
安全装置	流水検知装置 (水量センサ) 送風検知装置 (回転数検知方式) 立消え安全装置 (フレームロッド方式) 過熱防止安全装置 (ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ) 誘導電保護装置 (サージアブソーバ)	空焚安全装置 (水位電極) 凍結予防装置 (電気ヒータ+暖房燃焼運転) 漏電安全装置 (漏電遮断器) 過圧防止安全装置 (スプリング式)

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

135-8208型のガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ (13A・12A共通)	1時間当りのガス消費量：kW ()内はkcal/h			出湯能力 (能力最大)：L/min	
	同時使用時	給湯	暖房	25℃上昇	40℃上昇
都市ガス用	13A 69.2 (59,500)	52.3 (45,000)	17.4 (15,000)	24.0	15.0
	12A 64.4 (55,400)	48.7 (41,900)	16.3 (14,000)	22.3	13.9
L.P.ガス用	69.2kW (4.94kg/h)	52.3kW (3.75kg/h)	17.4kW (1.25kg/h)	24.0	15.0

※出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

135-8308型のガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ (13A・12A共通)	1時間当りのガス消費量：kW ()内はkcal/h			出湯能力 (能力最大)：L/min	
	同時使用時	給湯	暖房	25℃上昇	40℃上昇
都市ガス用	13A 51.4 (44,200)	34.0 (29,200)	17.4 (15,000)	16.0	10.0
	12A 47.9 (41,200)	31.6 (27,200)	16.3 (14,000)	15.0	9.4
L.P.ガス用	51.4kW (3.69kg/h)	34.0kW (2.43kg/h)	17.4kW (1.25kg/h)	16.0	10.0

※出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

アフターサービスについて

■アフターサービス(点検・修理など)を依頼される前に

- 32～34ページの「故障！とお考えになる前に」「故障・異常の見分け方と処置方法」の項をもう一度ご確認ください。
確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて(分電盤の専用スイッチを「切」にして)から、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印など)
 2. 品名…135-8208型・135-8308型
(品名は機器のフロントカバーに張ってある銘板の下部に書いてあります)
 3. 現象…できるだけ詳しく
 4. 訪問ご希望日

(N)135-8208(U)

大阪ガス株式会社

■転居または機器を移設される場合

- ガスには都市ガス数種類およびLPガスの区分があります。
- ガスの種類(ガスグループ)が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては運転音や振動が大きく伝わらないよう場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

- この機器には保証書が付いています。
- 保証書に記載のように、給湯暖房機の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

■修理用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- この機器の修理用性能部品の保有期間は製造打切後10年です。その後の修理は、修理用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。ただし、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

■アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 別添の「大阪ガスのお問い合わせ先」を参照してください。

MEMO